

ニューヨーク・ブルックリン地区生まれの知的でキュートなジヨスリン・エクルスさんは、山鼻中学校(二月まで)の英語指導助手。日本人の英語教師と二人でチームを組み子どもたちを教えている。エクルスさんの住んでいる東札幌六条団地には、JETプログラムによって招致された外国人が十数世帯住んでいる。JETプログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業の略で、文部科学省など国の所管事業。本市も主に国際交流員や中学校などの外国語指導助手として受け入れている。

シヤマイカで農業を営みその後アメリカに移住した両親の三女として育ち、地元のイサカ大学を経てシカゴ大学大学院を卒業した。専攻は、民族や人種に関わる社会学など。札幌に来たきっかけは、シカゴ大学在学時に、友人の札幌出身の女子留学生から札幌の話聞いたことに始まる。以前から日本に興味を持っていたエクルスさんは、彼女からJETプログラムの存在を聞くと、早速応募したという。エクルスさんが、愛娘リーナちゃん(八歳)を伴って来札幌したのは昨年八月。札幌について「規模もほどよく、古い文化を大切にしながら最新技術も摂取する調和のとれた街。そして自然が豊富なのもすばらしい。また、札幌の人々は親切」と評価する。札幌の生

2002.4

# 白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ「ようこそバラの街へ」  
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>  
白石区民公式サイト「Shiroishi.org」  
<http://www.shiroishi.org/>



今月の

人

日本をもっと知りたくて、できるだけ娘と二人で外に出るように心掛けています

山鼻中学校の英語指導助手

(四月から別の小・中学校・高校へ転任予定)

ジヨスリン・エクルスさん (二八)

(東札幌在住)

活を楽しんでいる彼女であるが悩みもある。それは子ども教育。リーナには、日本の文化などにも視野を広げてもらいたくて、東札幌小学校に通わせてます。算数、理科はアメリカより高度で心配はしていないけれど、英語力が心配」と言う。リーナちゃんは、学校で友達と話す時、理解をしてもらおうとつい和製英語を話してしまうらしい。

彼女の趣味を聞くと、韻を押しなどの形式にとらわれない叙情詩を書くことと答えた。アメリカの同時多発テロのことが、彼女の詩集に加えられるのは言うまでもないが、札幌での思い出は楽しい一遍として加えられるのだろうか。

編集 白石区役所総務企画課広聴係  
☎003-8612  
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1  
☎861-2400 内線224  
FAX860-5236